

第3学年1組 国語科学習指導案

指導者 大町 幸奈

研究主題 豊かな心と確かな学びをはぐくむ学校図書館

千葉市教育研究会、学校図書館部会の今年度研究重点、

①豊かな心をはぐくむ児童、生徒の読書活動推進に関する研究

・読書への興味関心を常に刺激するような読書活動に関する研究を受けての提案授業である。

新学習指導要領、総則の「指導計画の作成等に当たって配慮すべき事項」の中で、「学校図書館を計画的に利用しその機能の活用を図り、子どもの主体的・意欲的な学習活動や読書活動を充実させること」が挙げられている。学校図書館の学習センター、読書センターとしての役割は、ますます重要なものと位置づけられることとなった。

本提案授業は、国語科における読書単元で展開する。

1 単元名 本の世界を広げて読む ―テーマを決めて本をしょうかいし合おう―

2 単元について

単元の系統

新学習指導要領「国語科」における読書単元に関する指導内容は、次の通りである。

低学年：楽しんだり知識を得たりするために、本や文章を選んで読むこと。

中学年：目的に応じて、いろいろな本や文章を選んで読むこと。

高学年：目的に応じて、複数の本や文章などを選んで比べて読むこと。

中学年の児童には、「易しい読み物に興味をもち」（旧学習指導要領より）取り組んできた読書活動から、「目的に応じて」幅広く「選んで」読書する姿への変容が求められている。共通テーマのもと、読んだ本を紹介し合う活動を通して、児童の読書活動の幅を広げることを目指したい。

読書意欲を高め、日常生活においても読書活動を活発に行うことができるよう、平成23年度教育出版小学校用教科書国語では、各学年に①情報読書（図書館の利用に関する教材）と②交流読書（読書活動教材）の二つの系列の教材が位置づけられている。

<上巻 情報読書>

1年 ●本を読みましよう

2年 ●本をさがして読む―図書館へ行こう―

3年 ●情報をもとめて読む―本の仕組みを知ろう―

4年 ●情報をもとめて読む―「じょうほうけいじ板」を読もう―

5年 ●情報を深める―新聞を作ろう―

6年 ●情報を深める―学んだことを生かして調べよう―

<下巻 交流読書>

低学年 本の世界を楽しむ

- 1年 ●おもしろかった本をしょうかいしましょう。―「おはなしどうぶつえん」でガイドになろう―
- 2年 ●お話のおもしろかったところを、しょうかいしましょう。―「お話しじゅつかん」を作ろう―

中学年 本の世界を広げて読む

- 3年 ●テーマを決めて、本をしょうかいしましょう。―「読書けいじ板」を作ろう―
- 4年 ●テーマを決めて、本をしょうかいしましょう。―「読書発表会」をしよう―

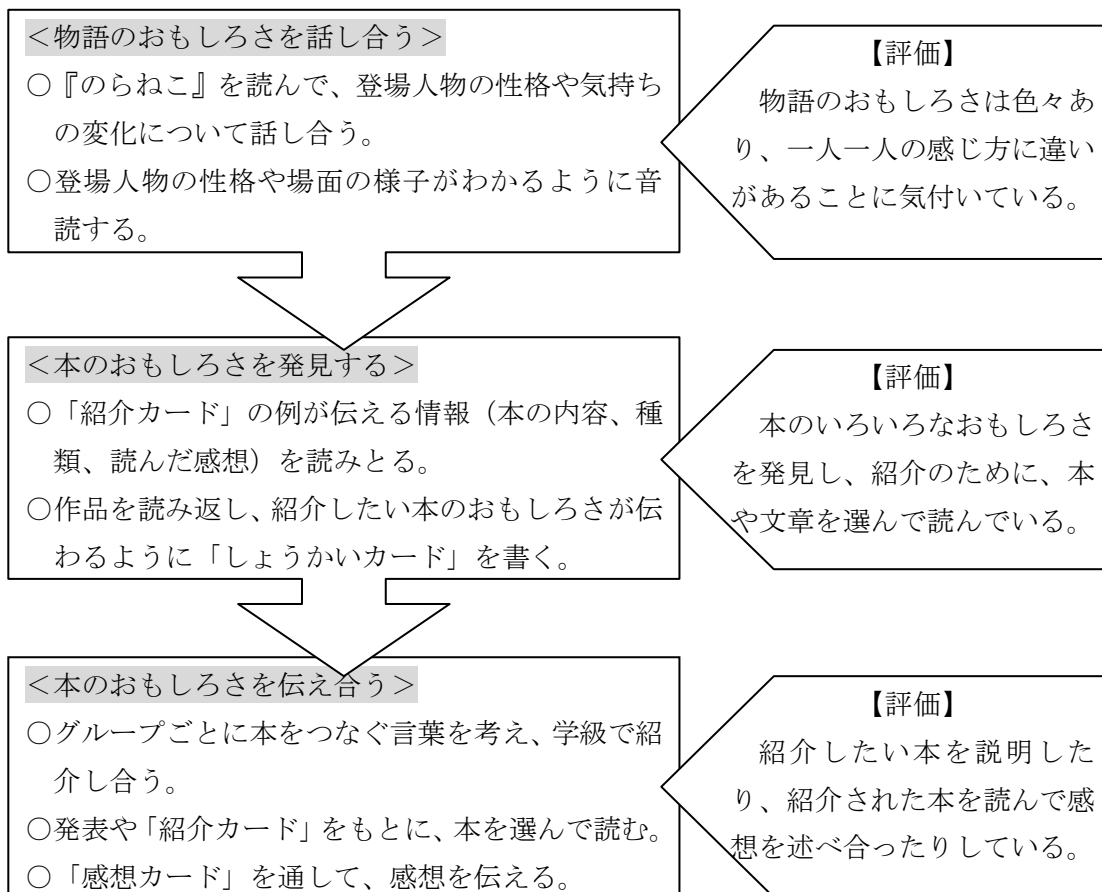
高学年 本の世界を深める

- 5年 ●本のしょうかいの仕方をくふうしましょう。―「読書すいせん会」を開こう―
- 6年 ●本を読んで話し合い、自分の考えを広げたり深めたりしましょう。―「読書座談会」をしよう―

以上のように、情報活用能力を高め、読書交流を深めるために、読書活動が系統的に構成されている。交流読書の単元では、写真読み物、昔話、落語など日本の読み物から幅広い読書へつながるようになっている。本単元では、本の紹介や推薦、交流など、読んだことをもとに表現する交流読書における活動を展開する。

教材について

本教材は、本のおもしろさを紹介し合う活動を通して、児童が読書の幅（本のジャンルや質など）を広げて読書していくことを目指している。児童の主体的、意欲的な読書活動を促すために、本教材は大きく3つの学習で構成している。



まず、会話中心に展開する物語『のらねこ』を読み、笑いを誘う展開や登場人物のユニークさなど、物語のおもしろさを話し合わせる。〈物語のおもしろさを話し合う〉学習の中で表れる一人一人の感じ方の違いから、『のらねこ』のいろいろなおもしろさに気付かせたい。

物語のおもしろさを味わった後、これまで読んだ本の中から友達に紹介したい本を一冊選ばせる。テーマは、教材文を生かして「ねこがいっぱい」とする。多くの本に登場しているため、図書収集がしやすく、児童の身近な生き物であることから、興味をもちやすいテーマである。児童らは、『本の仕組みを知ろう』で書誌情報を記録する読書カードについて学習した。以後、読書ファイルという形で簡単な読書記録（本の名前、書いた人、おすすめ度）を継続している。読書ファイルを利用して、テーマにもとづいた本を選書させる。

〈本のおもしろさを発見する〉学習では、選んだ本を読み返して、「紹介カード」を書かせる。学級の友達に紹介するという目的は、本を紹介しあう学習への意欲をかきたてるだろう。さらに、本の内容や種類を伝えたり、感想を書いたりするために、読んだ本の世界を再構成することにつながると考える。

紹介文に取り入れる文の内容や構成については、読書掲示板の教材文を参考にさせる。その際、いろいろなジャンルから本が紹介されていることにも気付かせたい。「本の世界を広げて読む」という目当てを確認することで、多種多様なジャンルの本から「紹介カード」を書かせるようにする。

〈本のおもしろさを伝え合う〉学習では、教材の読書掲示板を作る学習に、発表会を加える。発表は、グループで行い、本をつなぐ言葉を考える言語活動を取り入れる。友達の本と自分の本をつなぐ言葉を考え紹介させることによって、いろいろな本の面白さに気付かせることができると考える。

興味をもって読んだ本については、「感想カード」を書かせる。紹介された本を読んだことを伝えたり、本の感想を伝え合ったりする経験は、児童の読書生活を豊かにするだろう。できるだけ多くの本を読ませ、読書掲示板を活発に利用させることで、読書の幅の広がりを感じさせたい。

学習終了後も、読書記録は継続していく。グループでつないで紹介した発表が、一人で複数冊を紹介するブックトークという形（第四学年）へ発展させられるよう、学習終了後も読書記録を継続していく。

〈実践における留意点〉

○学校図書館、公共図書館の活用

- ・千葉市中央図書館の見学を通して、図書館の利用方法やマナーを学習させ、公共図書館利用への関心を高めておく。
- ・団体貸出を利用して、ねこが登場する図書を借り、教室に置いて自由に読書できるようにする。
- ・学校図書館の貸出カードや2年生から利用してきた読書ファイル（読んだ本の記録）から、テーマに合った本を確認させる。
- ・学校図書館指導員と連携をして、児童の主体的、意欲的な読書活動を推進する。

〔 図書便りや図書室に、担任が書いた紹介カードと図書を紹介するコーナーを設ける
本の探し方について簡単なガイダンスを行う〕

○読書の幅を広げる

- ・これまでの読書記録から読書生活について振り返らせ、本の世界を「楽しむ」から「広げて読む」へ変容することに意欲をもたせる。
- ・多くの類と色々なジャンルの図書に出会わせるため、団体貸出や図書室から選んで借りてくる。

- ・30人による色々な本の紹介が、本の世界を「広げて読む」ことへながることを確認させ、紹介する本を選ぶときは、色々なジャンルから紹介し合えるように支援していく。
- ・紹介された本を読み合うことで、これまで読んでことのないジャンルの本への興味を高める。
- ・感想の共有体験によって、読書生活をさらに豊かにさせていく。

○言語活動の充実を図る

- ・紹介カードには、本の内容と種類、自分の感想の3つを書くことに気付かせ、感想文とは違うことを確認する。誘い文の効果についても、意識させておく。
- ・誰に向けて、何のために書くかをはっきりさせ、目的をもって本を読み返すようにさせる。
- ・グループ発表では、友達の紹介文を自分の紹介文へつないでいく表現を工夫させる。

3 児童の実態

在籍30名（男子16名 女子14名） 調査人数30名 9月1日実施

①本を読むことは、好きですか。

（26）はい （4）いいえ

- ・学校図書館の貸出冊数（4月～7月）は、平均22冊であり、週一回の「図書の時間」の貸出2冊を活用しているといえる。約3割の児童は25冊～30冊の本を借りており、休み時間などに図書室を利用している。ただ、約1割の児童が15冊以下と貸出冊数が伸びていない。理由として、「休み時間は、外で遊びたい。」「返却日を忘れることが多い。」「読みたい本を自分で選べない。」等を挙げている。学校での読書生活を充実させるため、中央図書館の団体貸出を利用し、学級文庫に補充している。
- ・1年生のときから、週一回の「図書の時間」や月一回の「おはなし会」で、図書館指導員や図書ボランティアさんに読み聞かせをしてもらってきた。また、先生方や図書委員会からの読書案内を聞くなど、日常的に本に触れる機会を多く設定することで、読書習慣は育成されてきていると考える。今年度から朝の読書タイムがなくなったので、給食の準備時間やテスト終了後の時間などを活用し、短い時間ではあるが読書にあてるようにしている。
- ・「いいえ」と回答した4名の貸出冊数は、16冊～23冊と少ないわけではない。また、4名のうち、「面倒だ」「長い本や字が小さい本は、頭がごちゃごちゃする」を理由に挙げた2名の児童は、類をまたがって本を読んだり、低学年から中学年向けのいろいろな物語の本を選んだり読書に無関心なわけではない。
ただ、「楽しくない」「詳しく書いたり、字を読んだりするのが好きではない」を理由に挙げた2名の児童は、『怪談レストラン』（怪談レストラン編集委員会、童心社）シリーズや『かいけつゾロリ』（原ゆたか、ポプラ社）シリーズの他、なぞなぞやゲームの本を多く借りている。読書の抵抗となっている要因を軽減したり、読書の幅を広げる工夫をしたりして、読書の楽しさがわかるような働きかけをしていきたい。

②図書室や図書館へ行くことは好きですか。

(2 4) はい (6) いいえ

- ・公共図書館の貸出カードを持っている児童が多く、定期的に中央図書館（徒歩20分、車で5分）を利用している。中央図書館見学を通して施設の利用方法を学習した後、一人で図書館へ訪れる子もいた。公共図書館への関心が高まり、読書の場を学校の外へ広げ始めるこの時期に、公共図書館の積極的な利用を促していきたい。

③3年生の読書記録を振り返って、よく読む本に◎、時々読む本に○をつけましょう。

- (8) 科学や図かんなどの調べる本 (0 類や 4 類)
- (0) 宗教や心の本 (1 類)
- (1 2) 伝記や歴史の本 (2 類)
- (1 0) 社会のことを知る本 (3 類、 5 類、 6 類)
- (1 5) スポーツや図工の本 (7 類)
- (4) 言葉の本 (8 類)
- (2 7) 絵本や物語の本 (9 類)

	1 位	2 位	3 位
よく読む本	9 類 (2 7)	7 類 (1 5)	2 類 (1 2)
あまり読まない本	1 類 (0)	8 類 (4)	0、4 類 (8)

- ・9類に偏っている児童も多いが、質や内容を詳しくみると、写真絵本や童話、昔話やノンフィクションなど、いろいろな物語に触れることができている児童もいる。引き続き、物語のいろいろなおもしろさに気付かせながら、他の類の図書の魅力も伝えることで、読書の幅を広げさせたい。

気がかりなのは、類は多岐にわたっていても、筋のおもしろさで読み進められる娯楽的な図書に偏っている児童である。9類では、『かいけつゾロリ』『怪談レストラン』『若おかみは小学生』（令丈ヒロ子、講談社）などの人気が高い。おもしろいと感じると、シリーズを続けて読んだり、類似した本を読んだりする傾向がみられる。また、7類の図書の多くが、なぞなぞや心理ゲーム、マジックに関連する図書である。2類の伝記と3、5、6類の図書も8割が「漫画でよくわかる」シリーズである。いずれも気楽に楽しめる本に留まっており、低学年の読書の仕方から広がりを見せていない児童が多いようだ。価値ある本との出会いを工夫して演出しながら、読書活動を豊かにさせたい。

④本を読むと、どんな良いことがありますか。

(19) 楽しい (25) 新しくわかることがある (3) 友達との話題ができる

その他

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・勉強につながる、漢字を読めるようになる・いろいろな物語に出会えて楽しい・本を読んで知ったことが多い・お話がわかると嬉しい |
|--|

- ・お話をじっくり味わったり、新しい発見をしたり、友達と内容について話し合ったりと日常的にも読書を楽しんでいる姿が見られる。『学研まんがひみつシリーズ』(学研)や『学習漫画伝記シリーズ』(集英社)などは、楽しく新しく知識を増やすことができるので、児童の読書意欲を促すのだろう。読書を好きでないという児童1名も、友達との話題ができることを読書の良さと捉えている。なぞなぞやゲームなどの本を友達と一緒に読み合う姿から、一つの遊びとして楽しんでいることが伺われる。多くの本との出会いを体験させることで、本の魅力を多面的にとらえられるように支援していきたい。

⑤読みたいと思う本をどうやってさがしていますか。

(25) 自分でさがす (11) 先生に聞く (7) 友達に聞く

その他

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none">・図書館の人に聞く。・アニメから・コンピューターで検索 | <ul style="list-style-type: none">・お母さんに聞く。・本棚を見て、読みたいと思う本を探す・あきらめる |
|---|---|

- ・図書室での選書の仕方を見ていると、迷うことなく自分で読みたい本を探して読書している児童が多い。先生や友達とのコミュニケーションも良好に取れている。ただ、選ぶのに時間がかかり読みたい本を見つけられない児童もいる。図書館指導員が紹介した本や新しく図書室に入った本、紹介コーナーにある本などから手に取って選ぶように支援しているところだ。
- ・作者の名前やシリーズ名をたよりに、アイウエオ順に並んでいる棚から読みたい本を選ぶことができる。図書室の掲示資料や貸出カードへの記録などから、分類番号(4学年学習予定)にも関心をもってきている。
- ・アンケート④にもあるように、読書活動は、友達とのコミュニケーションともなっていることがわかる。おもしろい本を伝え合う活動を通して、活発な読書交流へとつなげていきたい。

4 単元の目標

- 友達の紹介から興味をもった本を読み、いろいろな本と出会おうとしている。 【関・意・態】
- 友達に本のおもしろさを伝えるために、選んだ本を読み返している。 【読む】
- 読書交流を通して、読者一人一人の様々な感じ方に気付く。 【読む】
- 考えや思いを表す言葉の働きを意識して、「紹介カード」や「感想カード」を書く。 【言語事項】

5 指導計画（11時間）

	時数	学習活動	評価規準
【物語のおもしろさを話し合う】	4	1 学習の見通しをもつ。 ○単元で学習することを知る。 ○『のらねこ』を読み、感想を書く。	◎本を紹介し合う活動に興味をもっている。 【関・意・態】
		2 のらねこの様子や性格を話し合う。 ○のらねこの言葉から、性格や気持ちを考える。	◎登場人物の様子や性格について、会話文や様子を表す言葉に注意しながら読んでいる。 【読む】
		3 のらねこの気持ちの変化を読み取る。 ○リョウとの距離を縮めようとする行動や会話から、のらねこの気持ちの変化を話し合う。	◎場面の様子や登場人物の性格を考えながら音読している。 【読む】
		4 読みたい場面を選び、役割を決めて音読する。 ○めあてをもって音読する。	
【本のおもしろさを発見する】	3	1 「読書カード」からテーマにそって紹介したい本を選ぶ。 ○図書室の本、団体貸出で補充している学級文庫、家にある本、図書館の本などから選ぶ。	◎自分の好きな本を選んで、紹介しようとしている。 【関・意・態】
		2 紹介する本のおもしろさを発見してメモする。 ○本のおもしろかったところを見つける。 〔・登場人物や出来事、時代や場所 ・物語の筋や場面の移り変わり ・言葉の使い方や書き方、文章の調子 ・心にのこった言葉や文 ・絵や写真 ○本の種類を書く。 〔・本の種類 ・同じ種類のほかの本とくらべてちがうところ	◎本のおもしろさを紹介するために、文章を読み返している。 【読む】
		3 紹介文を書く。 ○本を探すときの情報を書く。 ○前時のメモをもとに、本のおもしろさが友達に伝わるように書く。 ○誘い文や感想などをいれる。	◎友達が読みたくなるような紹介をするために、工夫して書いている。 【書く】

【本のおもしろさを伝え合う】	4	1 グループで本を紹介し合う。 ○聞き方や話し方について話し合う。 ○グループでつなぐ言葉を考える。 ○発表の練習をする。	◎紹介したい相手を見て、本のおもしろさや紹介したいと思った理由がわかるように話している。 【話す・聞く】
		2 グループごとに本を紹介し合う。(本時) ○グループごとに発表する。 ○発表を聞いて読んでみたいと思った本を選ぶ。 ○紹介し合う活動を振り返る。	◎友達が紹介した本からいろいろな本のおもしろさに気付き興味をもつ。 【関・意・態】 ◎読んでみたいと思った本を選び、読む。 【読む】
		3 興味をもった本を選んで読む。 ○「読書タイム」に読む。	◎興味をもった本を選んで読む。 【読む】
		4 「感想カード」を書く。 ○「感想カード」の書き方を知る。 ○「感想カード」を書いて、掲示する。	◎紹介してくれた本のおもしろさや良さを感想カードに書いて紹介してくれた友達に伝えようとしている。 【書く】

6 本時の指導

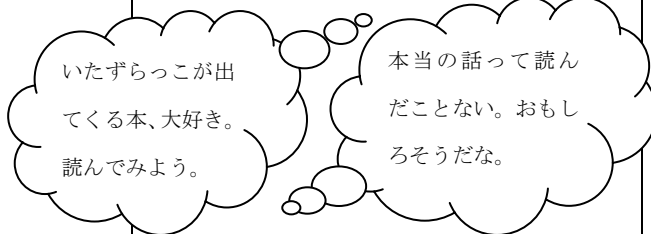
(1) 本時の目標

○紹介したい本のおもしろさを伝え合う活動を通して、いろいろな本に興味をもつ。

○紹介された本の中から、読んでみたいと思った本を選んで読む。

(2) 展開 (9 / 11)

学習活動と内容	教師の支援 (○) 評価 (◎)	資料・教具
1 本時のめあてを確認する。	○本を紹介し合う活動が、いろいろな本と出会うきっかけになることを伝え、発表会への意欲をもたせる。	
テーマにそって、本をしょうかいし合おう。		
2 グループごとに発表をする。 ・1グループ5分程度の発表 ※参考資料参照	○本と本をつなぐ言葉など、グループの発表の工夫にも興味をもたせる。 ○紹介する本は、好きな場面や説明する写真を見開きにしてブックエンドに置かせる。 ◎紹介された本のおもしろさに気づき、興味をもつことができたか。	紹介カード (原稿) 紹介する本 (展示)
3 紹介された本から選んで、読書をする。	○グループごとに紹介した本を展示しておいて、読みたい本を選ばせる。 ◎読んでみたい本を選んで読むことが	紹介した本 (展示) グループの



<p>4 振り返りをする。</p> <p>字が小さくて厚いので、読むのが大変そうだなと思っていました。でも、〇〇さんの発表を聞いておもしろそうだったので、読んでみようと思います。</p> <p>〇グループの発表では、本のつなぎの言葉がおもしろかったです。一冊ずつがばらばらなのに、まとまりがある感じがしました。</p> <p>5 次時の予告を聞く。</p>	<p>できたか。</p> <p>〇活動を振り返る観点を与えておく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書紹介を聞いた感想 ・どの本を読みたいと思ったか ・なぜ読みたいと思ったか <p>〇グループでつなげて紹介した本時の活動が、一人で複数冊をつなげて紹介するブックトークへ発展することを知らせる。</p> <p>〇「感想カード」を書いて、紹介してくれた友達と交流することを伝える。</p>	<p>紹介カード (掲示)</p>
--	--	-----------------------

※参考資料

< 1 班 >

ルース・エインズワース	ねこのお客
エスター・アベリル	黒ネコジェニーのおはなし〈1〉 (世界傑作童話シリーズ)
アン・ホワイトヘッド・ナグダ	いたずらニャーオ (世界傑作童話シリーズ)
金田一春彦	まんがことわざ辞典 (小学生の)

< 2 班 >

ペロー	長靴をはいた猫
レギーネ・シントラー	シモンとクリスマスねこークリスマスまでの 24 のおはなし
岡野薫子	あめの日のどん
日本子ども研究会編	どの本読もうかな? 3・4 年生

< 3 班 >

イルズ・マーグレット ボーゲル	おばあちゃんがいるから (せかいのどうわシリーズ)
B・K・ウィルソン	こねこのチョコレート
プロベンセン	みみずくと 3 びきのこねこーかえでがおか農場シリーズ
馬場のぼる	1 1 びきのねこ

< 4 班 >

五味太郎	言葉図鑑ーことばがいっぱい (1)
寺門保夫	たのしいはりえ (ペーパーランド (2))
小宮 輝之	動物 (ジュニア学研の図鑑)
谷真介	十二支のはじまり (行事むかしむかし (十二支のはなし))
今泉耕介	空から降ってきた猫のソラー有珠山噴火・動物救護センターの「天使」

< 5 班 >

エゴン・マチーセン	あおい目のこねこ (世界傑作童話シリーズ)
ルイス・キャロル	ふしぎの国のアリス (子どものための世界文学の森 25)
岸田衿子	どうぶつはやくちあいうえお
イーヴァル・アロセニウス	リッランとねこ (世界傑作童話シリーズ)
岸田衿子	どうぶつはいくあそび

< 6 班 >

角野栄子	なぞなぞあそび歌
アーシュラ・ウィリアムズ	魔女のこねこゴブリーノ (世界傑作童話シリーズ)
小宮 輝之	動物 (ジュニア学研の図鑑)
学研	生き物と働きたい! (2)

< 7 班 >

南部和也	ネコのホームズ (おはなしルネッサンス)
富安陽子	ムジナ探偵局本日休業 (シリーズじーんどキドキ)
シャーロット ヴォーク	ねこのジンジャー
なかのひろみ	イヌのいいぶんネコのいいわけ

